

令和3年度事業計画書

公益財団法人徳川黎明会

基本方針

当財団は、本年度も引き続き、これまで蓄積してきた豊富な実績を基盤に、美術・史学の調査・研究等に一層の研鑽を重ね、その成果について、教育・普及活動等を通じて、広く社会に提供・貢献する。また、尾張徳川家伝来の美術工芸品・歴史資料、保有する貴重な国内外の美術品・資料等について、展示・研究発表等を通じて、社会に公開し、文化・芸術の振興に努める。

1. 本部・総務部

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大に、当財団の運営も大きな影響を受けた。期末を迎え、国による緊急事態宣言が解かれてもなお、依然として収束の見えないところにあるが、令和3年度は、有事における法人運営のあり方も見直しつつ、収束後の回復への努力も念頭に、法人理念、事業目的・計画の実現、より円滑な事業推進を図るべく、引き続き徳川美術館、徳川林政史研究所の事業活動を統括・支援・推進し、各拠点の職場改善や業務効率化をなお一層進める。また、従業員の世代交代、本部ならびに美術館の建物・設備等の経年劣化・老朽化、寄附公募のあり方、収益改善・確保・向上への対策について、より明確で具体的な計画策定と実現に努める。

2. 徳川美術館

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年度事業計画に揚げた21万3千人の入館者予測を大幅に下回る6万人台(見込み)となり、対前年度比70%減と極めて大きな影響を蒙ることとなった。令和3年度においても、コロナ禍による影響はなお一定程度続くとともに、ワクチンの普及・効果などによる一定の収束をも見込み、年度を通じた入館者予測を13万人と設定し、コロナ禍収束後を展望した事業計画としている。展示事業においては、下掲のとおり、現代作家とのコラボレーションによる新基軸の特別展(「刻を描く 田淵俊夫」展)、刀剣愛好者を主対象とした特別展(「名刀紀行ー京・大和と九州ー」展)、また、昨年度、行政による緊急事態宣言のもとで開催できなかった特別展(「家康から義直へ」展)、女性に焦点を当てた特別展(「尾張姫君ものがたり」展)、さらには、修復事業完了を記念した「国宝 源氏物語絵巻」館蔵全巻公開等を実施する。また、館外展示として、石川県立歴史博物館での大型展覧会を予定している。一方で、文部科学大臣、国土交通大臣より認定を受けた文化観光拠点計画(令和2年度～令和7年度、6ヵ年計画)のもとで、地域の文化観光振興の拠点として、文化財の魅力増進、利用者の利便性向上、情報発信の改善等を目的とした施設整備に取り組む計画である。文化財修理事業においては、文化庁ほかの助成を得て、引き続き、「国宝 初音蒔絵調度」の修復(令和4年度完了見込み)ほかを予定している。

3. 徳川林政史研究所

令和3年度は、所蔵史料の整理・研究・公開と併せて、引き続き、他機関所蔵の尾張藩関係史料等の調査・研究を推進する。第2代当主、徳川光友の実録編纂の成果を史料纂集として刊行するとともに、内木家所蔵史料調査の成果として、尾張藩林政史の実態を解説したブックレットも編集・刊行する。教育・普及活動においては、例年通り、徳川美術館と連携した講座を予定しているが、当面、収束の目途が立っていないコロナ禍を想定し、WEB上でのオンライン講座開講も視野に入れる。また、在宅でのリモート作業環境の充実を図るとともに、若手研究者の育成活動に活用していく。

なお、各事業拠点における実施事業詳細については、次葉以降に記載のとおりである。

I.公益目的事業

[公益事業 1] 美術館の運営事業（徳川美術館）

1. 美術品の展示・公開・修理・保存・収集

(1) 展示・公開

① 名品コレクション展（第1～5展示室）

収蔵品中の名品を中心に、第1展示室では、甲冑・刀剣ほかの武具を展示する。また、第2展示室では、茶碗・茶入ほかの茶の湯関連品、第3展示室では、香炉・掛軸ほかの書院飾り関連品、第4展示室では、能面・能装束ほかの能狂言関連品を、各々、名古屋城二之丸御殿の茶室・書院・能舞台を復元した展示室で展示する。第5展示室では、婚礼調度をはじめとする「奥道具」を紹介する。これらの展示室では、年度内に計4回（4,7,9,1月）大展示替えを実施し、約1か月ごとに部分展示替えを実施する。また、第1展示室では、「名刀セレクション」、第5展示室では、「国宝 初音の調度」を順次数点ずつシリーズで紹介する。第6展示室では、「国宝 源氏物語絵巻（複製）」の展示およびビデオによる同絵巻の解説を行う。

② 特別展（第7～9展示室）

ア. 特別展「刻を描く 田淵俊夫」

4月18日～5月30日

中日新聞社・日本経済新聞社共催

日本画家・田淵俊夫は、日本画の美質である装飾性と精神性を両立させながら創作を続けている。田淵俊夫の画業を振り返り、新作を含め、自薦による名品を紹介する。

イ. 特別展「名刀紀行—京・大和と九州—」

6月5日～7月11日

代表的な刀剣産地に数えられる山城（京都府）・大和（奈良県）の刀工による名刀や、大和の刀工の流れを汲む九州の刀工の作品を中心に紹介する。

ウ. 夏季特別展「家康から義直へ」

7月17日～9月12日

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会・読売新聞社共催

天下統一を果たした徳川家康と、泰平の世に尾張国統治を任された家康の息子義直。義直へと受け継がれた治世方針に焦点をあてながら、二人の生涯、そして義直の家康への想いを、遺品や史料などから読み解く。

エ. 秋季特別展「尾張姫君ものがたり」

9月18日～11月7日

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会・中日新聞社・日本経済新聞社共催

将軍家をはじめとする名家から嫁ぎ、御三家筆頭の尾張徳川家の歴代藩主を支えた女性たち。正室や側室・娘たちゆかりの品々を展示し、その生涯を紐解く。

オ. 修復完了記念 館蔵全巻特別公開「国宝 源氏物語絵巻」

11月13日～12月12日

徳川美術館所蔵の「国宝 源氏物語絵巻」すべての修復と巻物への改修が令和2（2020）年に完成した。これを記念し、前後期で展示替えを行いながら、全巻を特別公開する。

カ. 特別展「尾張徳川家の雛まつり」

2月5日～4月3日

中日新聞社共催

御三家筆頭の格式と豪華さを具現する尾張徳川家の雛人形・雛道具を展示する。

③ 企画展（名古屋市蓬左文庫展示室）

ア. 企画展「うるわしき花と鳥」

4月18日～5月30日

古くから人の心を潤してきた花と鳥。四季を表す指標として、また、洗練されたデザインとして、花と鳥を写し込んだ絵画や工芸品を紹介する。

イ. 企画展「あかがね／くろがね」

6月5日～7月11日

華やかな金と銀の影に隠れがちな銅・鉄という金属に着目し、素材としての有用性を活かした、こだわりの作品を紹介する。

ウ. 企画展「唐絵－尾張徳川家の中国絵画－」

11月13日～12月12日

「東山御物」をはじめとする尾張徳川家伝来の中国絵画をまとめて展示し、大名家の筆頭であった同家における中国絵画受容の様相に迫る。

エ. 企画展「浮世絵で旅気分」

1月4日～1月30日

幕末の浮世絵を彩った北斎や広重の浮世絵風景版画を紹介する。尾張家第13代、幼君、徳川慶藏の墓の副葬品であった風景版画も紹介する。

オ. 企画展「年中行事の今と昔」

2月5日～4月3日

日本の年中行事には、現在にも息づく行事もあれば、今では失われてしまった行事もある。江戸時代の版本や絵画などを中心に、年中行事の変容をたどる。

④ 特別展示（第2展示室）

「千利休 泪の茶杓」2月19日～3月1日の間、特別公開する。

⑤ 特別観覧

ア. 一定の条件の下に、大学・研究機関等の研究目的の特別観覧に応ずる。

イ. 「徳川茶会」を10月から11月にかけて9日間実施する。

⑥ 館外展示

「徳川美術館展 尾張徳川家の至宝」(仮)を10月9日～11月23日の間、石川県立歴史博物館において開催する。

(2) 修理・保存・収集

① 「国宝 初音蒔絵調度」 書棚（七宝繫）・書棚（龍膽七宝繫）・胡蝶蒔絵調度 書棚

ア. 国庫補助金「国宝重要文化財等保存整備費補助金」（国庫補助事業）による修理

イ. （公財）住友財団「文化財維持・修復事業助成」による修理

② 能装束（白・納戸細格子と茶・花色・黄・赤・白横縞腰替熨斗目）

（公財）三菱財団「文化財保存修理事業助成」による修理

③ 仕覆、その他

活動支援基金による修理

④ 収集作品については、寄贈の申し出があれば検討する。

2. 調査・研究

(1) 学芸部における調査・研究（括弧内の新規表示のほかは昨年度より継続）

- ①館蔵品調査、②尾張徳川家御道具帳のデータベース化、③尾張徳川家関係寺社蔵品調査、④尾張徳川家に関連する政秀寺所蔵什宝の調査、⑤幕末明治浮世絵の研究、⑥尾張藩御用絵師の研究、⑦大名家における絵師の絵画活動についての研究、⑧尾張における画家の活動についての研究（田中訥言を中心に）、⑨武家女性の生活史の研究、⑩尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書についての研究、⑪渡来織物の調査研究、⑫近世狩野派の研究、⑬戦国合戦図の総合的研究 *、⑭戦国軍記・合戦図の史料学的研究（新規）

※、⑮江戸初期絵画の研究、⑯尾張徳川家茶頭の研究、⑰尾張徳川家の仏教絵画の研究、⑱高雄曼荼羅の復元と空海の造形観の研究 ※、⑲近世狩野派を中心とした図様継承と絵画制作システムに関する研究※、⑳尾張徳川家に関する古典籍および古文書の研究（新規）

※ ⑬は東京大学史料編纂所特定共同研究、⑭は共立女子大共同科学研究、⑯は奈良国立博物館共同科学研究、⑲は東京国立博物館共同科学研究として、文部科学省科学研究費の助成の下で実施する予定である。

(2) 徳川林政史研究所との連携研究

- ① 尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究
- ② 尾張徳川家関連史料に関する基礎調査・研究
- ③ その他、展示・教育普及事業への協力および研究交流の促進

(3) 収蔵品データベースの構築

調書作成・入力、写真データ作成・入力、展示作品リスト・キャプション用データ整備・入力、リスト・キャプションの作成、作品の写真撮影、作品情報のデータベース化等

(4) 研究用図書類の整備

図書類の受入、整理および管理を行う。

(5) 研究成果の公開・公刊

① 定期研究発表会

11月（第79回）および2月（第80回）を予定。

② 図録、研究紀要等

ア. 特別展図録の作成・頒布

特別展「刻を描く 田淵俊夫」に際し、図録の作成・配布。さらに、秋季特別展「尾張姫君ものがたり」に際し、名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会作成の共同図録の作成・頒布。

イ. 簡易リーフレットの作成

企画展「うるわしき花と鳥」、企画展「あかがね／くろがね」、企画展「唐絵－尾張徳川家の中国絵画－」に際し、作成・頒布。

ウ. 英文リーフレットの作成

展覧会を紹介する英文リーフレットを適宜、作成・配布。

エ. 『金鯰叢書』第49輯（『研究紀要』第56号）の編集・刊行

③ 美術館だより「葵」（第118号～121号）を年4回（4,7,9,1月）作成・配布。

(6) 大名道具収蔵館研究会

当館を幹事館とし、研究会を実施する。

3. 教育・普及

(1) 記念講演会

- ①特別展「刻を描く 田淵俊夫」、②夏季特別展「家康から義直へ」、③秋季特別展「尾張姫君ものがたり」、④修復完了記念 館蔵全巻特別公開「国宝 源氏物語絵巻」

(2) 土曜講座

以下のテーマにて、年間9回の講座を開講する。

- ①花と鳥（4月）、②『享保名物帳』にみる京の刀剣（6月）、③東照大権現の成立と表象（8月）、④徳川義直の学問と著作（9月）、⑤尾張徳川家の女性たち－正室・側室・息女－（9月）、⑥尾張徳川家の中国絵画（11月）、⑦大名行列と浮世絵風景版画（1月）、⑧年中行事絵の歴史（2月）、⑨史料からひもとく尾張徳川家（3月）

(3) 刀剣講座

「名刀紀行」展会期中の2日間に2講座を開講する。

(4) 徳川林政史研究所による古文書入門講座（土曜日午前・午後開講）

6月・7月の間に、合計6回、「天保期の古文書を読む」をテーマに、シリーズで講座を開講する。

- (5) 徳川林政史研究所による江戸学講座（土曜日午後開講）
12月から2月の間に、合計4回、研究所員を講師として実施する。
- (6) 担当学芸員の見どころガイド
各特別展・企画展において学芸員が展覧会の見どころを紹介する（従前のギャラリー・トーク）。
- (7) 特別展・企画展関連企画
館内各部署の連携の下に、年度を通じ、展覧会にあわせた関連企画を実施する。
- (8) 組香体験（個人向け）
年度内に3回程度実施。
- (9) 土曜子ども教室 小中学校の児童・生徒向け教育普及活動
毎月テーマを決めて、教室を開催する（なお土曜日は、小・中・高校の児童・生徒は観覧料無料）。
- (10) 夏休み子ども特別企画
ギャラリー・クイズ、歴史教室ほかを実施する（8月）。
- (11) 名刀シールラリー
年度を通じ、随時実施する。
- (12) 中学校・高校・大学の生徒・学生の職場体験受け入れ（インターンシップ）
年度を通じ、随時受け入れる。
- (13) 団体対応体験プログラム
- (14) 小学校・中学校・高校・大学の生徒・学生向け体験含めた来館プログラム
- (15) 古美術相談会
原則として、毎月第1土曜日の午後実施する。
- (16) 名曲講座
- (17) 見学会
年度を通じ、1～2回程度実施する。
- (18) 出向・受嘱
依頼により、大学・文化センター等への講師や外部組織の職務に、教育・文化継承・社会貢献・広報等の観点から検討し、出向・受嘱する。
- (19) 協賛事業（外部事業）
 - ① 第100回名古屋市文化史教室（事業提携）
夏休み子ども歴史教室を名古屋市と共催する。
 - ② 「文化のみち 文化財巡りスタンプラリー」
（名古屋文化遺産活用実行委員会「文化遺産を活かした地域活性化事業」）
 - ③ 愛知県内の博物館・資料館などをめぐる「ひなまつりスタンプラリー」
- (20) その他
令和2年度に引き続き、若年層の来館者誘致に向け、「子ども教室」での取り組みを基礎に、高・大生や20～30歳台の若年層の興味・関心を惹くような「体験型」の講座・教室の開発や、「入門編」の解説・パネル・リーフレット・指導ガイドブックなどの作成を検討し、広報活動とも連携しつつ、準備ができたものについて、試験的実施を試みながら、次年度以降の展開を検討する。

4. 賛助会・友の会・大学メンバーシップ制度

- (1) 賛助会会員向け優待
 - ① 年間の無料入館
 - ② 企画展・特別展内覧会の実施
各特別展・企画展の開催日前日に賛助会員向け内覧会を開催（図録作成時は無料配布）
 - ③ 美術館だより「葵」および各種印刷物の配布
 - ④ 他館との連携による会員向け相互観覧料割引

- ⑤ 懇親会開催
- ⑥ 見学会（国内の史跡・他館特別展等）への会員優待
- ⑦ 茶会特別観覧料金、ショップ商品等の割引
- (2) 友の会会員向け優待
 - ① 一般会員向け観覧料優待制度
 - ② 美術館だより「葵」および各種印刷物の配布（一般会員・情報会員向け）
 - ③ 一般会員向けのショップ一部商品の割引
 - ④ 他館との連携による会員向け相互観覧料割引
- (3) 大学メンバーシップ制度会員向け優待
 - ① 対象大学法人の学生（一部教職員を含む）の観覧料優待
 - ② 対象大学法人への展覧会ポスター・チラシ、イベント案内等の配布・掲示
- (4) 各会員制度の一層の拡充に向けた検討
各カテゴリーの会員制度について、会員数の拡充のための方策を多様な観点から更に検討する。

[公益事業 2] 研究所の調査・研究・普及事業（徳川林政史研究所）

1. 調査・研究

(1) 研究所における研究

- ① 名古屋城の構造と儀礼に関する研究
- ② 尾張藩幕末維新史の研究
- ③ 近世の地域社会と森林利用に関する研究
- ④ 徳川農場における山林事業に関する研究
- ⑤ 近世林野の実態と利用に関する研究
- ⑥ 尾張藩祖徳川義直の研究
- ⑦ 尾張徳川家とその家臣団の江戸屋敷に関する研究

(2) 徳川美術館との連携における研究

- ① 尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究
- ② 尾張徳川家関連資料に関する基礎調査・研究
- ③ その他展示・教育普及事業への協力および研究交流の促進

(3) 研究成果の公開・公刊

- ① 課題研究に関する中間報告を兼ねた研究会の開催
- ② 『金鯨叢書』第49輯（『研究紀要』第56号）の編集・刊行
- ③ 『史料纂集 瑞龍公実録』（八木書店）の編集・刊行
- ④ 史料調査の成果公開（ブックレット・翻刻史料集の刊行）

(4) 「尾張徳川史」編纂準備（尾張徳川家編年データベースの整備、史料翻刻）

(5) 尾張徳川家関連資料の調査・研究

(6) 史料調査

- ① 林政史アーカイブズ調査
 - ア. 岐阜県中津川市加子母地域
 - イ. 弘前市立弘前図書館
 - ウ. 飛騨高山まちの博物館
- ② 研究資料（複写・写真撮影資料を含む）の調査・収集
 - ア. 犬山城白帝文庫
 - イ. 国立公文書館
 - ウ. 国文学研究資料館
- ③ 収集史料データの整理および公開のための基礎作業

(7) 調査・研究における他機関との連携・協力

名古屋市蓬左文庫、犬山城白帝文庫、徳川記念財団の他、国立公文書館・国文学研究資料館他の資料保存機関、大学・学会と連携・協力し調査・研究を実施する。

2. 史料・図書の整理

(1) 所蔵史料の整理

史料整理及び目録作成

旧蓬左文庫所蔵絵図、徳川林政史研究所収集史料、旧名古屋税務監督局所蔵史料、信濃国木曾史料、三河国各郡史料、美濃国各郡史料、他

(2) 所蔵史料の目録刊行（『金鯨叢書』第49輯〔『研究紀要』第56号〕に掲載）

- ① 尾張徳川家文書目録（18）
- ② 石河家文書目録（14）
- ③ その他

(3) 所蔵史料データベースの構築および保存

① 所蔵史料データベースの構築

尾張徳川家文書、尾張藩奥医師野間林庵関係文書、王滝村松原家文書、尾張国各郡史料、蟹江鈴木家文書、他

② 目録データベースの検索・活用方法ならびに公開体制（ホームページにおける検索システム構築）の検討

(4) 史料のデジタルデータ化

所蔵古写真、所蔵史料、調査収集史料写真、のデジタルデータ化の促進

(5) 史料の購入・補修（活動支援基金）

(6) 書庫内の整理ほか保存環境の保全

(7) 研究用図書 of 整理

3. 教育・普及

(1) 講座・講演

① 東京開催の「徳川林政史研究所公開講座」（豊島区、全6回）

② 徳川美術館「徳川林政史研究所 古文書入門講座」（全6回）

③ 徳川美術館「徳川林政史研究所 江戸学講座」（全4回）

④ 史料調査と関連付けた講座・講演（中津川市加子母、全2回）

⑤ （公財）上廣倫理財団助成事業関連の講座・講演（都内、1回）

(2) ホームページによる情報発信

① ホームページを活用した尾張藩政史・幕政史・林政史の研究成果の普及

② ホームページを利用した情報発信の促進

(3) 出講・受嘱

① 出講

大東文化大学、学習院大学、学習院女子大学

② 受嘱

外部機関からの依頼にもとづき、必要がある場合は、研究員を派遣

4. 若手研究者の育成

非常勤研究員・研究生による①研究会の開催②史料整理・目録作成作業③徳川美術館・名古屋市蓬左文庫の見学研修④その他、史料調査・研究・普及活動などへの参加を通じ、若手研究者の育成に努める。

5. 閲覧・出陳・レファレンス業務

(1) 史料閲覧

閲覧許可日：毎週火曜日・水曜日

(2) 史料出陳

(3) 所蔵史料写真の貸し出しおよび複写サービス

(4) レファレンスへの対応

6. 事業評価委員会の開催

3月

Ⅱ.収益事業

[収益事業 1] 不動産賃貸事業（本部・総務部）

1. 不動産賃貸事業

外国人向け住宅の賃貸（全6棟）

[収益事業 2] ミュージアムショップ、館内収益性イベントの実施、宝善亭等の運営事業（徳川美術館）

1. ミュージアムショップの運営

売上・収益の向上に向け、環境整備や商品拡充、コラボレーショングッズの販売による収益拡大、SNSを活用した商品告知、ショップ「葵」の一時利用やオンラインショップ・有楽町マルイイベントなど、外部での販売強化及び人材の育成等を図る。

2. 館内収益性イベントの実施

休館日貸切開館・ナイトタイムイベント・美術館施設の貸出など、収益性のあるイベント等を実施する。

3. 宝善亭・コーヒーラウンジの利用促進

業務委託先との連携を強化しつつ、収益向上を図る。

Ⅲ.管理業務

[本部・総務部]

徳川美術館、徳川林政史研究所をはじめ、法人の円滑な事業推進のため、各拠点の事業部門、管理部門の担当業務を支援し、掌理・統括する。

[徳川美術館]

1. 活動支援基金

- (1) 活動支援基金に係る管理事務
- (2) 寄附受け入れ拡充のための各種方策の検討

2. 補助金

- (1) 国庫補助金に係る交付申請および管理事務
- (2) 民間補助金に係る交付申請および管理事務

3. 観覧料金

- (1) 前売りペアチケットの導入
夏季特別展「家康から義直へ」、秋季特別展「尾張姫君ものがたり」、特別展「尾張徳川家の雛まつり」の各展覧会を対象として、2,300円（税込、販売期間限定）のペアチケットを販売する。
- (2) オンラインチケットの導入
 - ① 令和3年1月の展覧会から導入、運用を開始しており、全ての企画展・特別展で販売する。
 - ② 前売券価格（一般200円引、その他100円引）。
 - ③ コンビニ前売券の販売手数料より安価な為、コンビニ前売券は徐々に縮小または廃止を検討する（コンビニ販売手数料10%、オンラインチケット販売手数料5%）。

4. 広報

これまで外部専門業者等と連携し、実施してきたWEB解析・来館者調査などのマーケティング結果に基づく広報戦略を策定し、これにより、目指すターゲットに的確に届く広報を実行する。展覧会計画や教育普及プログラムと連携しつつ、WEB施策等の新しい広報手段の活用も視野に入れ、積極的かつ効果的な広報活動を推進する。若年層向けに対し、コラボレーション企画の実施や館内収益性イベントのアピールを強化するとともに、アフターコロナに向けたインバウンド施策にも注力する。

5. 営業

高校修学旅行、インバウンド誘致及びMICE誘致に注力した営業活動を強化する。

- (1) 個人向け旅行誘致や、個人向け需要獲得のための活動
 - ① 愛知観光協会、名古屋観光コンベンションビューロー主催の営業セールス及びオンライン商談会への参加。
 - ② WEBにおける情報発信や魅力を伝えるコンテンツ強化（YouTube動画配信、ZOOM講座など）。
 - ③ 市内宿泊施設、タクシー会社と相互連携し、タビナカ（旅の途中での観光）需要の獲得。
- (2) 高校修学旅行誘致のための活動
 - ① 国際社会におけるアイデンティティ教育を視野に、教育普及と連動した誘致のための活動を計画、実施する（体験プログラムの拡充）。
 - ② 地域内で連携可能な他施設（名古屋港水族館など）と調整した訪問営業活動を実施する。

- (3) インバウンド来館誘致のための活動
 - ① 訪日率が高いエリアの旅行博覧会等への参加。
 - ② 富裕層向けの夜間プランの拡充（外国語対応の解説等）。
- (4) 法人営業
 - ① MICE 招致を推進する機関と連携し、法人・宿泊施設等へ向けた営業活動を推進。
 - ② 年間スケジュールや、集客が見込める展覧会の情報発信を継続。
- 6. ボランティアの会運営
 - (1) 展示解説の標準化（マニュアルの改訂と解説・画像ソフトの開発）
 - (2) 能力（スキル）向上のためのボランティアの会研修会および見学会の実施
- 7. 徳川美術館運営懇話会（第 29 回）

9 月頃に開催予定。
- 8. 徳川園各施設との連携

月度連絡会議、徳川園調整会議（1 月下旬）、ホームページ等、WEB 上での連携、徳川園各施設と連携しつつ、名古屋市の歴史文化基本構想を活かした観光推進事業に参加、協力する。
- 9. 他の美術館・博物館との連携

大名道具収蔵館研究会、私立美術館会議、日本博物館協会・全国美術館会議・愛知県博物館協会等と連携する。
- 10. 施設・設備の営繕と保守点検
 - (1) 設備不具合等の緊急対応や中長期計画に基づき、施設・設備の修繕および更新を適切に実施する。
 - (2) 中長期計画に基づき、敷地内の庭園や茶室等の整備を適切に実施する。
 - (3) 美術館業務や来館者利便性向上に必要なシステム・機器の整備、環境を構築する。
- 11. 来館者対応強化

優れた人材の確保・育成により、顧客対応力を向上させ、来館者満足度を一層高めることにより、入館者数向上を図る。

[徳川林政史研究所]

- 1. 補助金
 - (1) 国庫補助金（特定奨励費およびその他の科学研究費）に係る交付申請および管理事務
 - (2) 民間助成金（（公財）上廣倫理財団助成金、他）に係る交付申請および管理事務
- 2. 活動支援基金

活動支援基金に係る管理事務
- 3. 設備管理

本部建物および設備等の修理・修繕・補修・修復等